

Journal of Disaster Research

原稿を作成する際の細かなルール

•Capitalization

title, section, subsection, subsubsection においては、各単語の先頭文字を大文字にする。ただし、冠詞・接続詞・4文字以下の前置詞・一部の指示代名詞(it, its)は除く。

× Journal Of Robotics And Mechatronics, Journal of robotics and mechatronics

○ Journal of Robotics and Mechatronics

subsubsection (例: 1.1.1.1.)は設けない。

見出し中に合成語(ハイフンでつないだもの)を用いる場合、ハイフンの後の単語の先頭文字も大文字にする。

○ Real-Time

•略記

Figure, Equation は、段落の先頭に来る場合を除き Fig., Eq.と省略。(文頭であっても、段落の途中であれば省略)

Fig., Figure, Table は常に太字。

Fig. 1 などと書く場合、Fig.と1の間にスペースを入れる。ただしここでは改行しない。

•単位

単位付きの量を表す場合、数値と単位記号の間にスペースを入れる。ただしここでは改行しない。単位記号はイタリック体にしない。単位記号を[]で囲まない。

× 100kg, 20kg, 20 [m], 5[sec]

○ 30 mm

ただし、マイクロ(=10⁻⁶)は例外的にイタリック体。

× 10 μm

○ 10 μm

角度は 90° のようにする。

•著者名の連記

タイトルページや References で3名以上の著者名を連記する場合、

Taro Fuji, Jiro Gijutsu, and Saburo Shuppan

とする。特に、and の前のカンマ(,)を忘れないよう注意。

2名の場合は Taro Fuji and Jiro Gijutsu のように and の前にカンマを入れない。

•文献の引用の仕方

本文中で文献を引用する場合、

... robot [1].

のようにする。ポイントは

- 文献は[]で囲む、

- ピリオドが来る場合、]の後につける、
- 直前の単語と [の間にスペースを入れる (ただしここでは改行が起こらないよう注意)。

•数値の範囲の指定

例えば、「2から5」と書きたいときは、2~5 とするのではなく 2-5 のようにする。

•図表のキャプション

図や表のキャプションは、先頭語の先頭文字のみ大文字にする。文章体であるかどうかに関わらず、最後にピリオドを打つ。

•式番号

式番号は、通し番号(1), (2), (3), ... をつける。

•Acknowledgements

謝辞は参考文献の前に置き、見出しは Acknowledgements とする。

•References

以下に例を示す。

[1] T. Fuji, J. Gijutsu, and S. Shuppan, “The Title of the Paper,” Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.16, No.1, pp. 1-10, 2004.